

情報棟実習室(61号館1階)  
認証システム  
利用マニュアル  
(Windows 7 版)

最終更新日：平成 22 年 04 月 20 日

## 1. 認証設定

### 1. 1. SecureW2 のインストール(導入)

- ① “SecureW2\_EAP\_Suite\_111.zip” という圧縮ファイルを右クリックし，“すべて展開(T)...” を選択してください。すると、図 1 の画面が表示されるので，“展開(E)” をクリックしてください。圧縮ファイルが展開(解凍)され，“SecureW2\_EAP\_Suite\_111” というフォルダが作成されます。

※圧縮ファイルを右クリックしても “すべて展開(T)...” がいない場合は、任意の解凍ソフトで解凍してください。

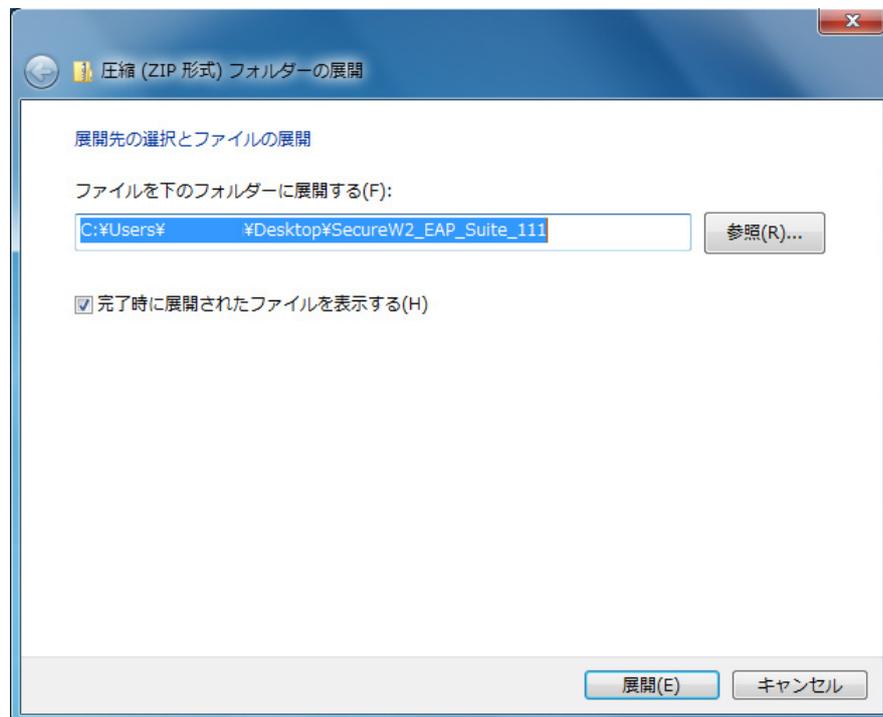


図 1 圧縮ファイルの展開(解凍)画面

- ② “SecureW2\_EAP\_Suite\_111” というフォルダ内の “SecureW2\_EAP\_Suite\_111.exe” をダブルクリックし、実行してください。

※ユーザーアカウント制御『次のプログラムにこのコンピュータへの変更を許可しますか?』というメッセージが表示された場合は，“はい(Y)” を選択してください。

- ③ 図 2 のような言語選択の画面が表示されます。“English” を選択し，“OK” ボタンをクリックしてください。



図2 SecureW2 インストール画面(言語選択)

- ④ 図3のような画面が表示されるので、“Next” ボタンをクリックしてください。

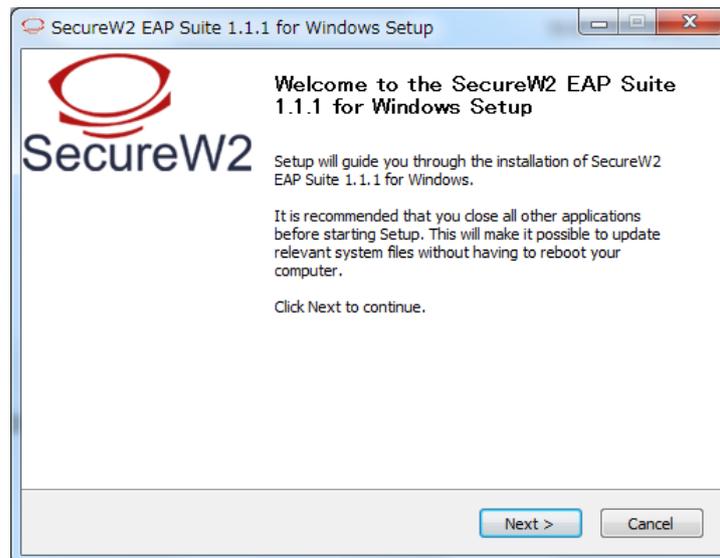


図3 SecureW2 インストール画面

- ⑤ 図4のような使用許諾に関する画面が表示されるので、“I Agree” ボタンをクリックしてください。

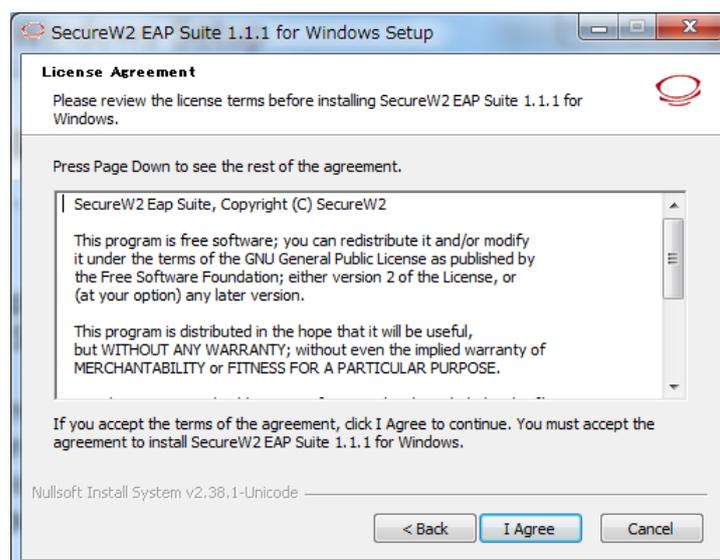


図4 SecureW2 インストール画面(使用許諾)

- ⑥ 図5のような画面が表示されます。“TTLS 4.1.0”のみにチェックを入れ，“Install”ボタンをクリックしてください。

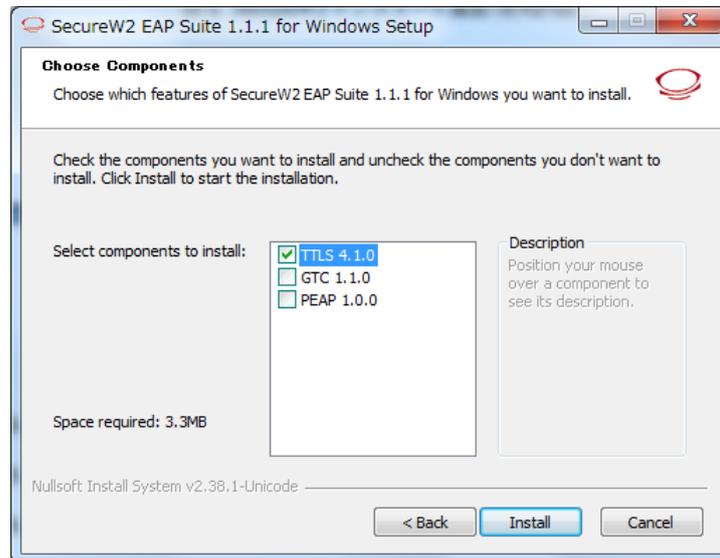


図5 SecureW2 インストール画面(利用項目選択)

- ⑦ ⑥を実行すると SecureW2 のインストールが始まり、しばらくすると図6のような画面が表示されます。“Reboot now”を選択し，“Finish”ボタンをクリックしてください。しばらくすると自動的にノート PC が再起動します。これで SecureW2 のセットアップは完了です。

※しばらく待っても再起動しない場合は、手動で再起動してください。

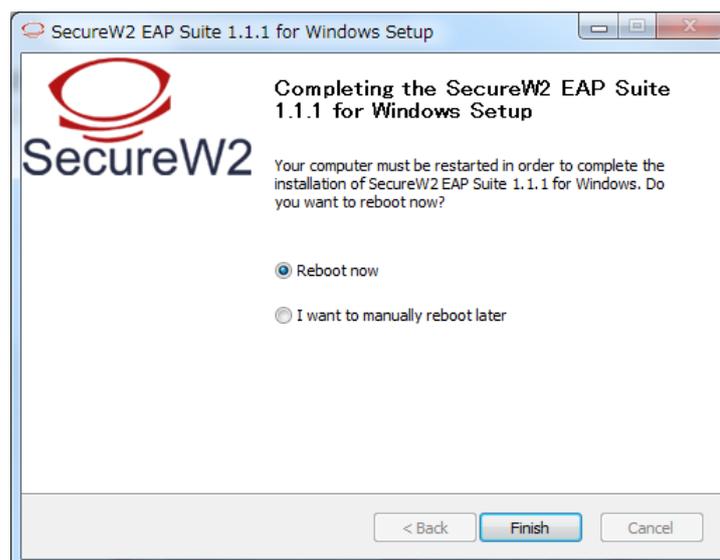


図6 SecureW2 セットアップ完了画面

## 1. 2. SecureW2 の設定

前節 1. 1. まで行ったら、情報棟実習室(61 号館 1 階)のネットワークを利用する為に SecureW2 の設定を行います。 設定を進める前に LAN ケーブルを外してください。

- ① 図7のような、タスクバー端のスタートボタン(Windows 7 のロゴのボタン)をクリックし、“コントロール パネル” をクリックします。

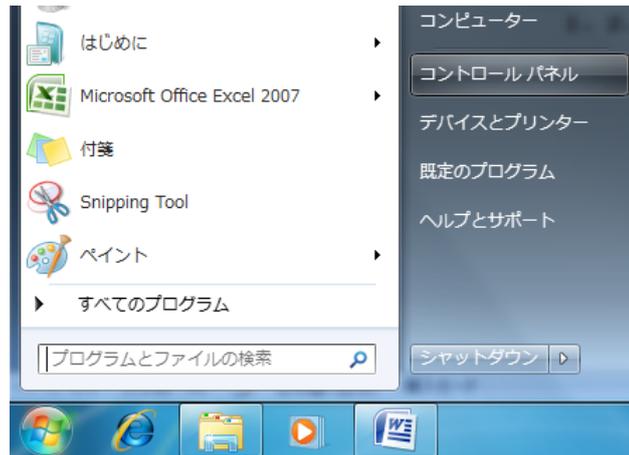


図7 Windows 7 スタートメニュー画面

- ② ①を実行すると、コントロール パネルのウィンドウが表示されます。図8のようにウィンドウ右上の“表示方法:”を“カテゴリ”にしてください。

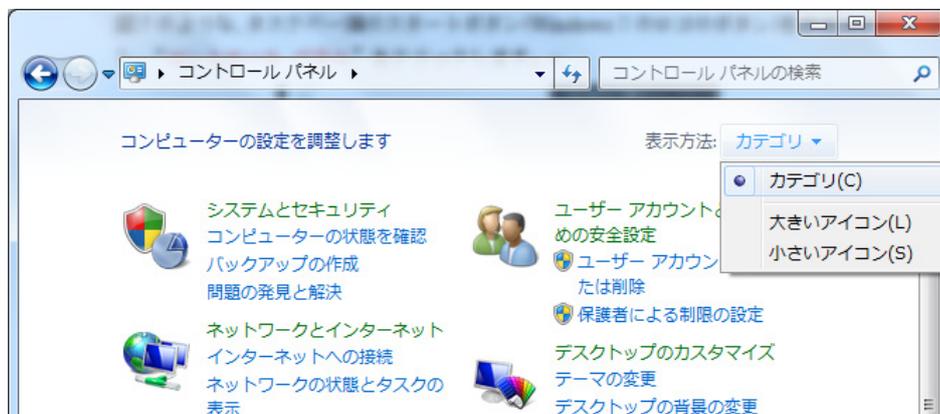


図8 コントロール パネルのカテゴリ表示

- ③ 図9のように、“ネットワークとインターネット”の項目の“ネットワークの状態とタスクの表示”をクリックします。

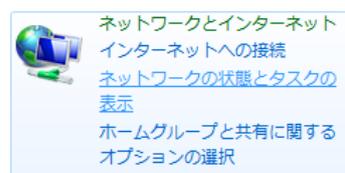


図9 ネットワークの状態とタスクの表示

- ④ ネットワークの状態画面が表示され、図10のような状態になっています。

※図10のようにになっていない場合は、LANケーブルが接続されているはずなので、LANケーブルを外してください。また、LANケーブルが外れていても、wirelessによりインターネットに接続されている場合があります。その場合には、⑤に進んで下さい。

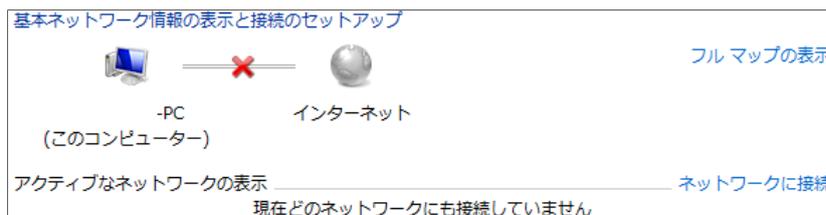


図10 ネットワークの状態図(LAN ケーブル非接続時)

- ⑤ 図10の状態が確認できたら、机上のLANポートとノートPCをLANケーブルで接続してください。しばらくすると、図10の状態から図11の状態に変化します。図11の状態が確認できたら、“ローカルエリア接続”をクリックしてください。



図11 ネットワークの状態図(LAN ケーブル接続時)

- ⑥ ローカルエリア接続を開いたら、“プロパティ”ボタンをクリックしてください。
- ⑦ “認証”タブをクリックすると図12のような画面が表示されます。以下のように設定をしてください。
- “IEEE 802.1X 認証を有効にする(N)”にチェックを入れてください。
  - “ネットワークの認証方法の選択(M):”は“SecureW2 EAP-TTLS”を選択してください。
  - “ログオンするたびに、この接続用の資格情報を使用する(R)”はチェックを外してください。
  - “認証されていないネットワーク アクセスにフォールバックする(F)”にチェックを入れてください。

図12と同様な設定状態が確認できたら、“設定”ボタンをクリックしてください。

※ “認証”タブがない場合は、本マニュアル11ページの“3. 認証タブがない場合

の対処”を参照し、認証タブを出現させてください。

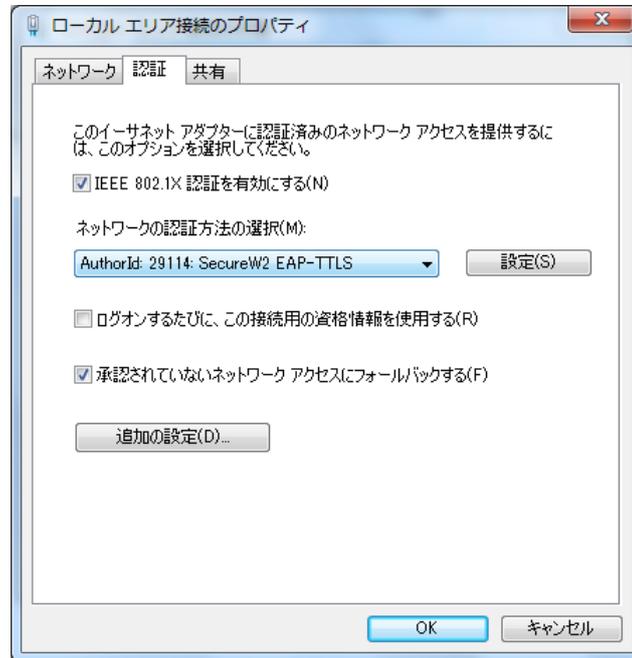


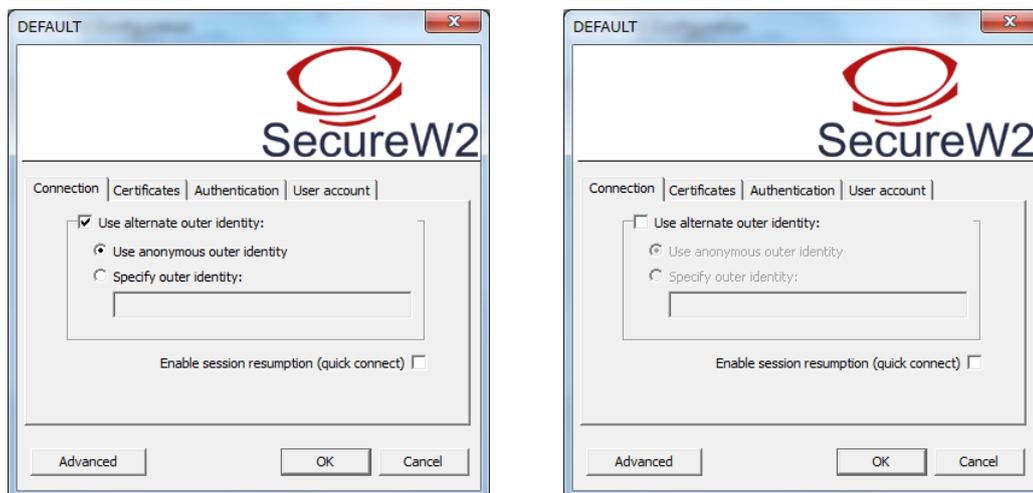
図 1 2 ローカルエリア接続の設定

- ⑧ ⑦で“設定”ボタンをクリックすると、図 1 3 のような SecureW2 の設定画面が表示されます。“Configure”ボタンをクリックしてください。



図 1 3 SecureW2 設定画面

- ⑨ 図 1 4 の(a)のような画面が表示されるので、“Use alternate outer identity:”のチェックを外し、図 1 4 の(b)の状態に変更してください。  
設定変更後、“Certificates”タブをクリックしてください。



(a)変更前

(b)変更後

図 1 4 SecureW2 Connections 画面

- ⑩ 図 1 5 の(a)のような画面が表示さるので、“Verify server certificate” のチェックを外し、図 1 5 の(b)の状態に変更してください。

設定後、“OK” ボタンをクリックし、SecureW2 の設定画面を閉じてください。ローカルエリア接続のプロパティも同様に“OK” ボタンをクリックし、閉じてください。

※コントロール パネルのウィンドウも閉じて大丈夫です。



(a)変更前

(b)変更後

図 1 5 SecureW2 Certificates 画面

- ⑪ ⑩まで進め、しばらくすると図 1 6 のようなポップアップが表示されます。ポップアップの枠内をクリックしてください。

※ポップアップが消えてしまった場合や、表示されなかった場合は、一度ノート PC から LAN ケーブルを外し、再度接続すると再び表示されます。

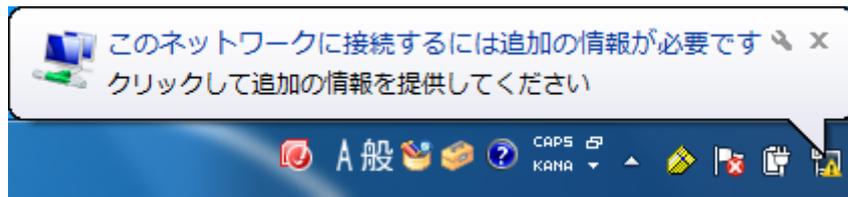


図 1 6 認証情報の入力を求めるポップアップ

- ⑫ ⑪でポップアップをクリックすると、図 1 7 の画面が表示されます。“**Username:**” に学生番号(u2X6XXX)を，“**Password:**” に学科パスワード(Unix 演習端末のログインパスワード)を正しく入力し，“**OK**” ボタンをクリックしてください。

“**Domain:**” には何も入力しないでください。また、“Save user credentials” にはセキュリティ上の観点から、チェックしないようにしてください。



図 1 7 SecureW2 認証情報入力画面

- ⑬ ⑫で正しく認証情報を入力すると、インターネットへ接続できるようになります。

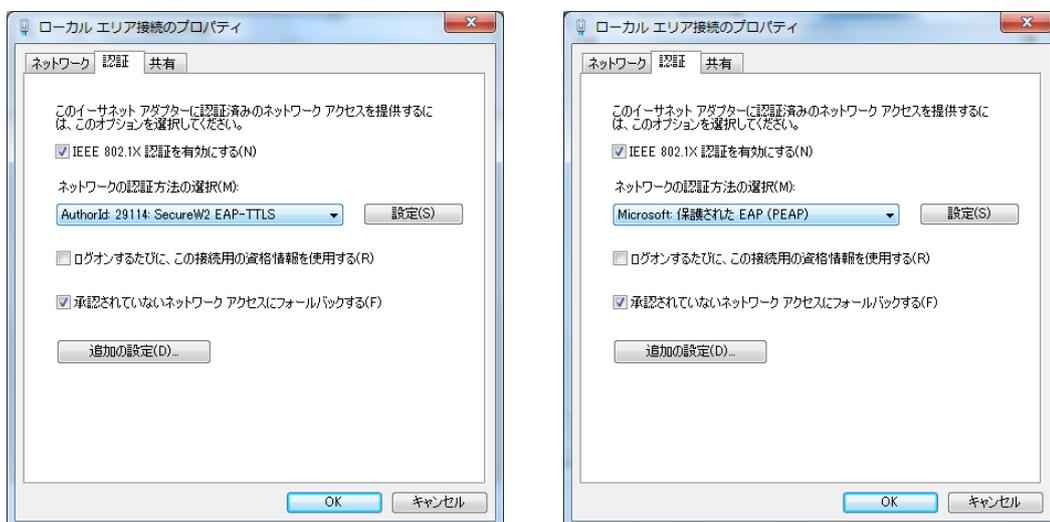
※本マニュアルでの設定状態のままだと、70号館でインターネットを利用することができません。70号館でインターネットに接続する場合は、次節“**2. 70号館と61号館1階でのネットワーク設定の切り替え**”を参考に、設定の切り替えを行ってください。

## 2. 70号館と61号館1階でのネットワーク設定の切り替え

※この切り替えは、既に70号館でのインターネット利用設定が完了したノートPCを前提としています。まだ設定が完了していない学生は、70号館2階の学習支援センターで設定を完了させてください。

### 61号館1階 ⇒ 70号館：

ローカルエリア接続のプロパティを開き(前節1. 2. ①～⑥参照)、認証タブをクリックしてください。図18のように、“ネットワークの認証方法の選択(M):”を“SecureW2 EAP-TTLS”から“Microsoft: 保護された EAP (PEAP)”に変更し、“OK”ボタンをクリックしてください。



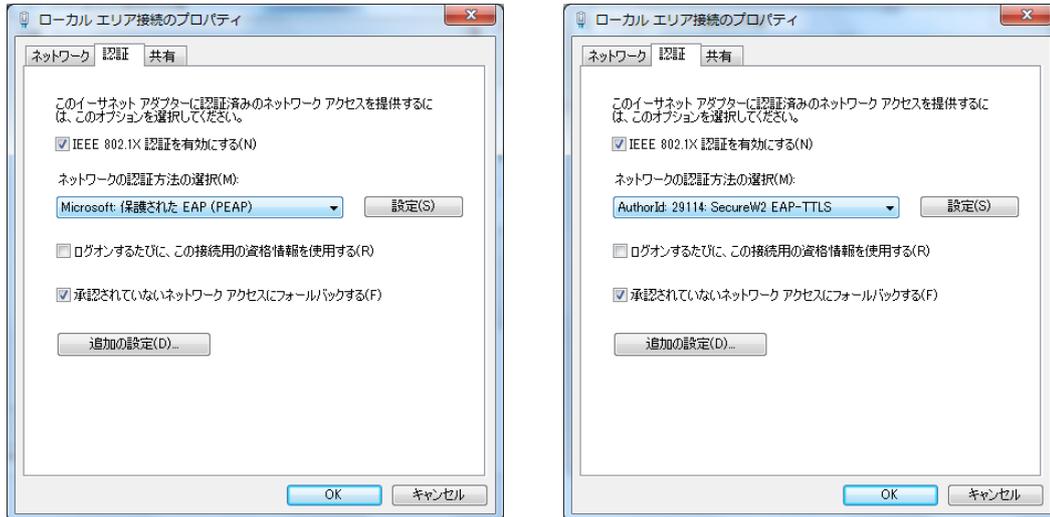
(a)変更前

(b)変更後

図18 61号館1階 ⇒ 70号館の設定の切り替え

70号館 ⇒ 61号館 1階：

ローカルエリア接続のプロパティを開き(前節1. 2. ①～⑥参照), 認証タブをクリックしてください. 図19のように, “ネットワークの認証方法の選択(M):” を “Microsoft: 保護された EAP (PEAP)” から “SecureW2 EAP-TTLS” に変更し, “OK” ボタンをクリックしてください.



(a)変更前

(b)変更後

図19 70号館の設定の切り替え⇒ 61号館 1階

### 3. 認証タブがない場合の対処

ノート PC によっては、ローカルエリア接続のプロパティに“**認証**”タブがない場合があります。その場合は、以下の手順で認証タブを出現させてください。

- ① コントロール パネルを開いてください(1. 2. ①参照).
- ② 図 2 0 のように、“**システムとセキュリティ**” をクリックしてください。

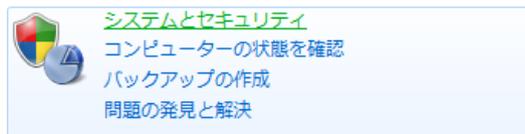


図 2 0 システムとセキュリティ

- ③ 図 2 1 のように、“**管理ツール**” をクリックしてください。

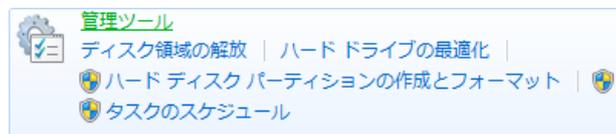


図 2 1 管理ツール

- ④ 図 2 2 のように、“**サービス**” をダブルクリックし、実行してください。

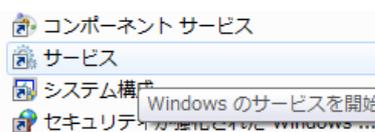


図 2 2 サービス

- ⑤ 図 2 3 のように“**Wired Auto Config**” をクリックし、左側にある“**サービスの開始**” をクリックしてください。

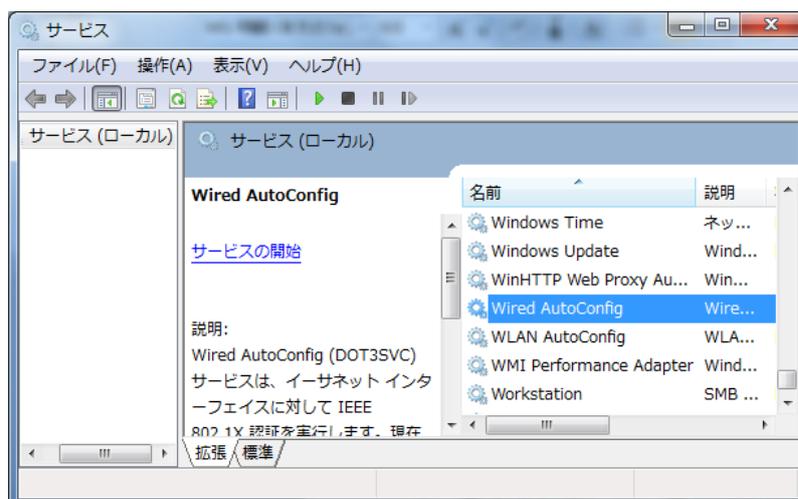
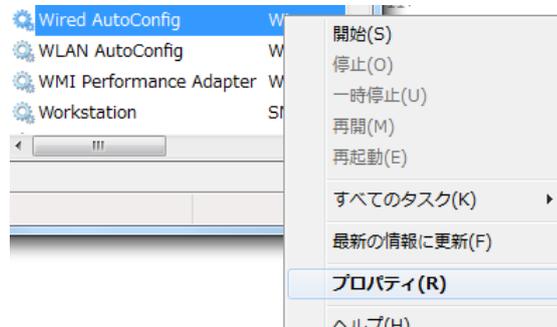
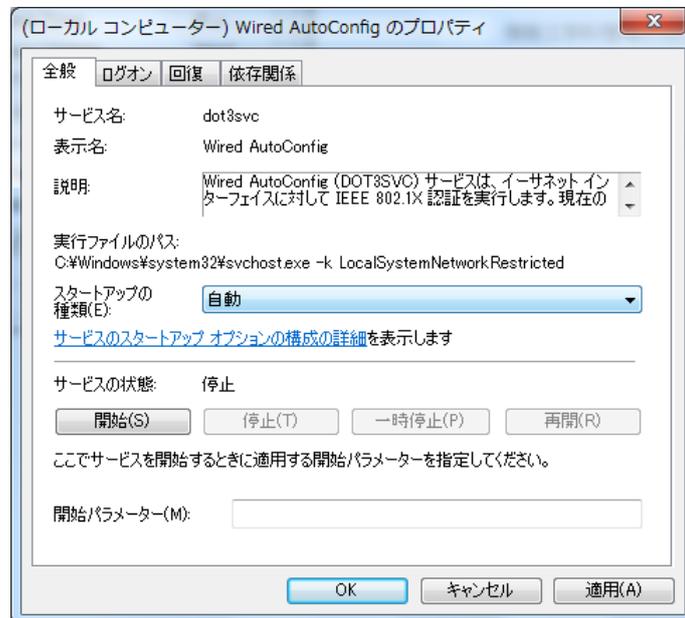


図 2 3 Wired Auto Config

- ⑥ 図 2 4 のように，“Wired Auto Config” を右クリックし，“プロパティ” をクリックしてください。



- ⑦ Wired Auto Config のプロパティが開いたら，図 2 5 のように“スタートアップの種類:” を“自動” にします。



- ⑧ “OK” ボタンをクリックして，ウィンドウを閉じます。
- ⑨ ローカルエリア接続のプロパティに“認証”タブが出現していることを確認してください。